

=====

一燈国際特許事務所 メールマガジン 2020年●月号

技術・知財関連のお役立ち情報、事務所内の情報、
知財関連のクイズ、各種オススメ情報などをお届けします。

=====

__c0__さん、こんにちは。

今月も以下の内容でメールマガジンをお届けします。

<目次>

【1】技術・知財関連情報

◎ファストトラック審査の活用

【2】事務所関連情報

◎所長コラム – 「夏休みの宿題、どっち派？」

◎MVPへの取り組み – 「守破離（しゅはり）」
– 「+αの力」

~~~~~○~~~~~

【1】技術・知財関連情報

└ このコーナーでは、法改正・トピック、中小企業向けお役立ち情報、  
└ 知財の裏話／おもしろ登録例、新技術・新特許の紹介をお届けします。

---

■■ファストトラック審査の活用■■（塚田喜彦）

現在、特許庁の商標審査においてファストトラック審査が試験的に導入・運用されております。

この審査制度は、指定商品・役務を一定の基準に従って指定すれば、通常12～14か月程度かかる審査が6か月に短縮されます。なお、本審査制度の利用は無料です。

詳細は以下サイトをご参照ください。

[https://www.jpo.go.jp/system/trademark/shinsa/fast/shohyo\\_fast.html](https://www.jpo.go.jp/system/trademark/shinsa/fast/shohyo_fast.html)

弊所においても、なるべくお客様に商標登録出願の結果を早く知ってもらいたいため、ファストトラック審査に採用されるような指定商品・役務の指定をするよう心掛けております。

しかしながら、この制度を追いかけるあまり、商標を使用する商品サービスを正確に指定しなければ、的確な商標登録ができなくなりますので、あくまで最優先しないようにすることに注意が必要です。

また、現段階では試験運用となっておりますので、今後ずっと続くかどうかは不明である点にも留意する必要があります。



## 【2】 事務所関連情報

┆ このコーナーでは、所長コラム、一燈のビジョン・ミッション  
┆ への取り組み、事務所内の裏話などをお届けします。

### ◎所長コラム

#### ■■夏休みの宿題、どっち派？■■（橘和之）

ずいぶん前のことに遡るが、小学校の夏休みの出願。最初の頃に片づけてしまう派？ それとも夏休みの終わり頃になって片づける派？ 皆さんはどっち派でしたか。

私は最初に片づける派だった。これはたぶん、私の心配性という性格の問題なんだろうと思う。

ギリギリになってやり始めてもちゃんと終わるかどうかが心配で、やるべきことが残っていることが常に気になってしまう。間に合うかどうか分からないという瀬戸際に立って、慌ててやるのが好きではなかった。

この性分は、あれから40年経った今も変わらない。日々の仕事に対する取り組み方は、あのときと同じだ。

今やれることは今やる。後回しにしない。そうしないと、土俵際まで追い込まれた状態で仕事をしなければならない羽目になってしまい、それ

では到底いい仕事はできないと思うからだ。

要領がよくて瞬発力の効く天才型の人もいるかもしれないが、私には真似ができない。私は私のやり方で、仕事に追われることなく、仕事を追う状態でいつもいい仕事をしていきたいと思っている。

◎一燈のミッション・ビジョン・フィロソフィ（MVP）への取り組み  
■■■守破離（しゅはり）■■■（川崎瑠美）

「守破離（しゅはり）」は、10年以上前に事務所で出会った言葉です。仕事における成長は、「守破離」の繰り返しでもあることを学びました。

守：教えを守りひたすら基本を身に着ける段階

破：教えを基礎とし、自己の知能や個性を発揮する躍進の段階

離：一つの流派から離れ、独自の新しいものを生み出し確立させる段階

入所して13年経ちますが、これまでの自分の仕事を振り返ってみました。

確かに20代の頃は、ひたすら仕事の技を習得していた「守」で、一から全部学ぼうと意気込んでいた時期でした。

30代の頃は、ある程度仕事は出来るようになったものの、判断力がないと感じる「守」と「破」の間の時期だったように思います。

40代の今は、ある程度自分で判断し、提案を上司に出来るようになり、「破」の段階になりつつあるかなという印象です。「離」については、まだまだその足元にも及ばない状況です。

自分で判断し提案出来るようになったのも、上司がどのように考え、どのように判断してきたかを近くで学んでこられたからだと思います。判断する思考プロセスを、知らずと習得してきたように思います。

本コラムを書いている現在（2020.5.22）は、リモートでの仕事も多く、上司・所員メンバーと直接話す機会が大変減りました。リモートでの仕事は、思考プロセスが見えづらく、身近での学びの機会を持つのが難しいと感じます。けれど、このような新しい仕事環境の中でも、「守破離」を繰り返すことを可能だと思えますので、奮起させながら成長したいと思っています。

◎一燈のミッション・ビジョン・フィロソフィ（MVP）への取り組み

■■+αの力■■（藤井澄代）

私の担当する外国事務は各国の特許・商標の事務全般にわたっており、幅広かつ正確な知識が必要となります。

出願された特許・商標がスムーズに登録まで至れば嬉しい限りなのですが、案件によって通常のフローとは異なり、イレギュラーな対応が必要なケースも出てきます。

このような時は先輩を見習い、過去の参考になりそうなケースを見返したり、現地庁のホームページやインターネットでの情報検索、現地代理人とのコレポンから情報を得てお客様へ報告をしています。時間はかかりますが、このイレギュラー対応をすることで勉強となり、+αの知識も増えます。

この+αを一つ一つ積み上げて自分のものとしていき、実務能力の向上に努めていきたいと思えます。

~~~~~○~~~~~

最後までお読みいただきありがとうございました。

今月の一燈国際特許事務所メールマガジンはいかがでしたか？

このメルマガに対するご意見・ご要望がありましたら、お気軽にお寄せください。

※ メール配信の解除はこちらからどうぞ。

<https://m.blain.jp/bm/p/f/tf.php?id=ktc1273>

発行元 一燈国際特許事務所 <http://www.itto-pat.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-4 半蔵門ファーストビル 3F

TEL：03-3515-7060 FAX：03-3515-7061

Copyright 2020 Itto International Patent Office All Rights Reserved